



TITLE:

# 社會政策學會第十回大會記事

AUTHOR(S):

河上, 肇; 瀧, 正雄

---

CITATION:

河上, 肇 ...[et al]. 社會政策學會第十回大會記事. 經濟論叢 1916, 3(6): 914-926

ISSUE DATE:

1916-12-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127121>

RIGHT:

京都帝國大學法學大

# 經濟論叢

第六號

第三卷

大正五年十二月一日發行

## 論說

戰時ノ我輸出品ノ粗製濫造(一)

戸田 海市

最小活資ノ免稅ヲ論ズ(二、完)

神戸 正雄

參觀交代制度ノ經濟觀(一)

本庄 榮治郎

『座』ノ研究(三)

三浦 周行

代表紙幣ト獨立紙幣(三、完)

作田 莊一

## 雜錄

公營造物ニ關スル美濃郡・織田・松本三博士ノ  
所論ヲ讀ミテ東京市電車舊乘車券問題ニ及ブ(三、完)

福田 德三

戰後ノ經濟戰ニ對スル準備

神戸 正雄

簡易保險更張ノ一方面

財部 靜治

歐洲ニ於ケル工場監督機關ニ就テ(一)

山本 美越乃

人口ト勞銀ノ趨勢

高田 保馬

經濟雜話(六)

田島 錦治

經濟漫錄(三)

瀧本 誠一

金井法學博士在職二十五年祝宴記事

田島 錦治

社會政策學會第十回大會記事

河上 正雄

京都法學會大會記事

## 社會政策學會第十回大會記事

河上肇  
瀧正雄

社會政策學會第十回大會ハ十月二十八日午後一時慶應義塾大講堂ニ於テ開カレタ。開會ノ辭ヲ述ベラルベキ筈ノ金井博士ハ缺席サレタ爲メ桑田博士ガ代ツテ開會ノ辭ヲ述ヘラレタ。同博士ハ工場法ト簡易保險トガ不完全ナガラモ實施サレタコトハ既往一年間ニ於ケル記憶スベキ出來事タルコトヲ述ベ、次デ、戰後ニ於ケル社會問題ノ看過ス可カラサルコトト、官業及ビ保護會社問題ノ重要ナル所以トヲ説キタル後、其ノ儘司會者ノ席ニ着イテ直チニ報告ニ移ル可キ旨

ヲ宣セラレタ。今回ノ討議問題ハ「官業及保護會社問題」デアツテ。報告者ハ堀江歸一、神戸正雄、堀光龜ノ三君デアツタガ、慣例ニ從ツテ各々分擔スル所ガアリ、堀江君ハ總論的ニ全體ニ亘リテ、神戸君ハ官業問題ニ就イテ、堀君ハ保護會社問題ニ就イテ、夫々研究ノ結果ヲ報告サレタ。

### 報告第一席 慶應義塾大學教授 堀江歸一君

官業ハソノ目的ニ從テ分類スレバ次ノ三種トナスコトガ出來ル。第一種ハ國家經營ノ方が私人經營ヨリモ優レルモノ、第二種ハ國庫ニ收入ヲ得ルコトヲ目的トスルモノ、第三種ハ國家ガ自ラ需要スル物資ヲ得ルコトヲ目的トスルモノ是レデアアル。我國ノ官業中第一種ニ屬スルモノハ郵便、電信、電報、森林、試驗所、造幣局、印刷局、千住製紙所、製鐵所、國有鐵道、鑛山水道等ニ關スル事業デアアル、又之レニ附隨シテ生ジタモノモアル、例ヘバ鐵道ニ附隨シテはてゐるが出來、森林ニ附隨シテ製材所が出來、千住製鐵所ニ附隨シテ被服廠が出來、郵便事業ニ附隨シテ簡易保險が與ツタ様デアアル、第二種ニ屬スルモノハ煙草鹽、樟腦等ノ專賣デアツテ、第三種ニ屬スルモノハ東京大阪ノ阿倍兵工廠及ビ吳製鋼所海軍探検所等ノ事業デアアル。明治初年ニハ官業ノ數モ僅カデアツタガ、其ノ後ニ於テハ漸次擴張サレタ。但シ議會ノ攻撃ヲ避クル爲メニ明治二十年頃ニハ整理サレ

テ民間ニ抛下ゲワレタモノデアツタガ、二十三年以後ニハ再び擴張セラレ、專賣事業サヘモ附加セラレタ。然ラハ我國ノ官業ハ果シテ其ノ目的ヲ達スルコトヲ得タルカ。先ツ第一種ノ官業ニツイテ見ルニ國有鐵道ハ財政ヲ亂スコト甚シキノミナラズ、運賃モ整理サレタル跡ナリ、鐵道労働者モ優遇サレタル點ガナイ、製鐵所モ亦然リテ、莫大ナル資本ヲ投シナガラ十分ナル供給ヲナスコト能ハズ、徒ニ鐵ニ對シテ重キ輸入税ヲ課スルノ結果、鐵ハ不足シ鐵材ハ騰貴シタノデアアル。第二種ノ專賣ニツイテハ相當ノ收入ヲ擧ゲツ、アルカラ一面ヨリ云ヘバ成功トモ云ヘナイテハナイガ、併シ半面ニ於テ消費ノ強制サレテ居ルコトヲ志レテハナラヌ。第三種ノ官業、即チ兵器製造ニ就テハ失敗トモ成功トモ判斷ガ出來ナイ。之レハ秘密ニ屬スルガ故ニ判斷スベキ材料ガナイノデアアル。要スルニ我國ノ官業ハ大ニ整理シナケレバナラヌ。乍併、官業ノ發達ハモト官僚政治ノ賜デアツテ、官僚ノ徒ハ自家ノ權勢ヲ張リ自家ノ榮達ヲ計ランガ爲メニ官業ヲ擴張シタモノデアアル。故ニ現今ノ如クソノ調査委員が官僚ノ徒タル間ハ之レヲ整理セシムルコトハ彼等ヲシテ自カラ其ノ手足ヲ斷タシムルト同様デ、到底實現サレ得ベキコトデハナイ。世人ノ中ニハ兵器製造ノ如キハ當然官業ニ屬スベキモノト考ヘテ居ル人モアル様デアアルガ、兵器モ今ハ國際の商品トナツタノデ、國家ガ獨占的ニ消費スルモノトノミ看做ス譯ニハ行カヌ。民間ニモ之ガ製造ヲ許シテ商業的ニ計劃ヲ立テシムルガ至當デアアル。人或ハ *war industries* ノ發生ヲ慮レ、彼等ガ議員ヲ買収シテ主戰論ヲ唱ヘシメ以テ外交上ニ意外ノ結果ヲ齎スベキ

コトヲ憂フルカモ知レヌガ併シ此ノ如キハ枝葉ノ些事デアル、是非之レヲ民間ニモ許シテ大規模ノ製造ヲ企テネバナラヌ。

次ニ我國ノ保護會社ハ銀行ト汽船會社トニ多イガ、銀行トシテハ、日本銀行、橫濱正金銀行、勸業銀行、農工銀行、日本興業銀行、北海道拓殖銀行、朝鮮銀行等デアル。此等ノ銀行ハ特權ヲ附與サレタリ或ハ國庫金ノ交付ヲ受ケテ居ルノデアルガ、莫大ナル利益ヲ擧ゲテ居ル。最近ノ統計ニヨレバ、日本銀行ハ一割四分八厘、正金銀行ハ一割九分一厘、臺灣銀行ハ一割四分四厘、朝鮮銀行ハ一割九厘、勸業銀行ハ一割五分一厘、興業銀行ハ七分三厘ノ利益ヲ擧ゲテ居ル。コノ中、興業銀行ノ不成績ハ一面ヨリ見レバ政府ノ指揮監督ノ宜シキヲ得ナイコトヲ示シテ居ルモノデアル。日清戰役ニ農工商鼎立ト云フ名目ノ下ニ日本銀行勸業銀行ニ對シテ與サレタノガ興業銀行デアル。併シ實際ノ金融市場ハ農工商ト云フガ如ク分立シテハ居ラズ、日本銀行モ金融逼迫スレバ株券ニ對シテ信用ヲ與ヘ、勸業銀行モ四十三年ノ法律改正以來興業銀行ノ業務ヲ侵シツツアルノデアル。保護銀行ガ狹キ範圍内ニ於テ互ニ競爭シツツアル以上興業銀行ガ不振ニ陷ルノモ無理ハナイ。又朝鮮銀行臺灣銀行ヲ保護シナガラ更ニ之ト競爭ス可キ日支滿蒙銀行ヲ與サントスルガ如キモ保護銀行ニ對スル政策ノ確立セザルコトヲ證スルモノデアル。次ニ汽船會社トシテハ、日本郵船、大阪商船、東洋汽船等デアルガ、此等モ亦非常ナリ利益ヲ擧ゲテ居ル。昨年下半年ノ計ハニ依ルト、郵船會社ハ四割八分四厘、商船會社ハ三割三分五厘、東洋汽船ハ一割二分二厘ノ利益デアル。聊カ補助金ノ過大ナル

ヲ思ハザルヲ得ナイ。加之、政府ハ一方ニ海運ヲ保護シツツ他方ニ反對ノ關稅政策ヲ行ツテ居ルノハ非常ナリ矛盾デアル。此ノ外保護會社トシテハ南滿洲鐵道、東洋拓殖、輕便鐵道、染料、醫藥等ノ會社ガアルガ、要スルニ、保護會社ヲ互ニ競爭セシムルノハ策ノ誤レルモノト謂ハネバナラス。又補助金ニツキテモ事業發達ノ晚ニハ之レヲ償還セシムルノ制度ヲ數クガ可イ。現ニ滿洲鐵道及ビ東洋拓殖ニ對シテハ一割ヲ限度トシ、マタ輕便鐵道ニ對シテハ八分ヲ限度トシテ、夫レ以上ノ配當ナシ得ル場合ニ一定ノ割合ヲ以テ補助金ヲ償還スルコトヲ定メテ居ル。併シ日本ノ國情ヨリ考フレバ一割ハ稍高キニ過ギル。一般株式ハ利廻四分迄ニ騰貴シテ居ルデハナイカ。宜シク八分トカ七分ト云フ所ヲ限度トスベキデアル。若シ保護會社ガ配當率ヲ高メズシテ積立金ヲ增加シ以テ拂込資金ニ當テシムルガ如キコトヲ爲サバ政府ハ其ノ一部ヲ徵收スベキデアル。又利益ノ増加スルニ從テ補助金ヲ減少スルコトヲ志レテハナラヌ。

### 報告第二席 京都法科大學教授 博士 神戶 正雄君

官業ヲ分テ財政的官業ト公益的官業トノ二者トスルコトが出來ル。財政的官業トハ收益ヲ擧グルコトヲ目的トスルモノデ、更ニ之レヲ細分シテ、純營利的ノモノト、專賣ノ如キ租稅化セルモノトノ二者トナスコトが出來ル。公益的官業モ亦之レヲ細分シテ、營利ト共ニ國民福祉ヲ計ルモノト、專ラ政府用ノ物ヲ調達スルモノトニ區別スルコトが出來ル。

第一、政治上ヨリ見テ官業ハ整理スベキモノナリヤ否ヤヲ考

ヘンニ、大體ニ於テ整理ノ必要アリト言ハザルヲ得ナイ。先ツ消極的方面ノミヲ觀察スレバ、營利者ト統治者トハ相一致シナイモノデアルコトニ氣ガツク。換言スレバ、(イ)官權ヲ以テ私人ノ競爭營業者ニ壓迫ヲ加フルハ非デアル。國家ハ私人ノ上ニ立ツテ私人ノ營利ヲ監督シ助成シ其利益ノ衝突ヲ調和ス可キモノデアルノニ、自ラ之ヲ競爭スルノハ非シクナイ。時ニ政府ノ獨占ト爲シテ私人ノ自由ヲ奪フノモ當ナリ得ヌモノトハ言ヘス。(ロ)官業ハ物又ハ勤務ノ需要者カラシテ政府ヲ非難ノ的トセシムル傾向モアル。此ノ點カラ見テモ、官業ハ政府ノ基礎ヲ危リカラシムルモノト見ラルル。(ハ)官業ハ勞働者ト政府トノ間ニ勞働問題ヲ惹起セシムルノ原因トモナルモノデアル。此等ノ非難ハ有力ナルモノデ、官業ヲ否定スル根本的ノ非難デアル。故ニ此非難ヲ避ントスレバ、勢ヒ官業ヲ廢止セトケレバナラヌガ、若シ官業ヲ廢止スルコトガ不可能トスレバ、一層ノ事、一切ノ企業ハ悉ク之レヲ官業ニ移スコトモ一ノ方法デアル。斯クナレバ今日ノ企業ガ即チ政治トナリ、特別ナル心理狀態ガ生シテ納マリガ着クコトトナル。一切ノ事業ヲ政府ガ行フニ至ツテ初メテ却ツテ右ノ非難ハ消滅スルニ至ルデアラウ。併シ此ガ又容易ニ行ハレズトセバ、少クトモ特段ナル企業、例之鐵道ノ如ク、國內ノ凡ヘテノ箇人財産ノ一般の價值ノ基礎タルモノヲ官業トシテ之ヲ手數料主義ニテ經營スルコトトシ、併シ諸他ノ産業ハ出來ルタケ民業ニ任カスコトトスレバ、其官業ハ最早企業デハナク、政治ヲ行フコトトナリ、而シテ一般産業ハ益々之ガ利益ヲ受ケテ發達ヲ遂ゲ、政治ト營利トノ衝突ハナキコトヲ得ルコト

トナル。勿論一般ニ官業ニモ積極的ノ利益モナイデハナイ。即チソノ公益ヲ計リツツアル點ニ於テ官業ハ正サニ國民ノ利益ヲ増進シツツアルトイフノ利ガアル。乍併、之レヲ現今ノ政治狀態ニ照シ、利害ヲ差引イテ大體ノ結論ヲ云ハバ、政治上官業整理ノ必要アルコトヲ否認スルコトハ出來ナイ。尙ホ政治上カラシテノ小サナ非難ヲ擧クルト、(一)官業ハ人民ノ獨立心ヲ消耗セシメ、(二)政治ヲ腐敗セシメ、(三)政府ノ上ノ政府ナキ故、即チ其上ノ監督者ナキ故不當ノ處置ヲ爲シ事業ヲ放漫ナラシムルノ缺點モアル。

第二ニ生産上ヨリ官業ノ可否ヲ考ヘンニ、比ノ點ニ就イテモ人體上缺點ノ多キヲ認メザルヲ得ナイ。(イ)官吏ノ心理狀態ヲ見ルニ、事業ニツイテ利益ノ觀念ヲ缺イテ居ル。個人企業ニ於テハ從業者ハ利己心ノ刺激ニ依ツテ艱難努力スルケレドモ、官吏一ハ其ノ心理作用ガ缺ケテ居ル。如何ニ大企業ノ重役ガ個人企業ノ主人ヨリモ利己心ヲ刺激サル、コトガ薄弱デアルニセヨ、之レヲ官吏ト比較スル時ハ其ノ間ニ尙ホ大ナル距離ノ存スルコトヲ否ム譯ニハ行カヌ。(ロ)官吏ニハ消極的ノ責任自覺アレドモ積極的ノ責任自覺ガナイ。從テ官吏ハ職務ノ際ニ形式ノ繁雜ニ陷リ易ク、敏速ニ所決スルコトガ出來ナイ。其ノ他、官業ガ政府ノ獨占トナル時ハ、民間ニ經濟ナク從テ民間ニ批評ノ起ラザル爲メ、事業ノ進歩ヲ止ムル虞レガアル。殊ニ官業ニテハ對外的事業ノ發展ヲ期スルコトハ難イ。乍併、個人ノ自由競爭ニ於テハ舊資本ノ必要トナルモノ頗ル多ク、莫大ナル資本ノ浪費ヲ招クモノデアルガ、官業の獨占ノ場合ニハ此ノ點ニ於テ利益

が得ラルル。又官業ハ公益ヲ旨トスルガ故ニ、品質佳良ノ品ヲ生産シ、必需品ハ規則正シク供給スルノ長所ヲ有シテ居ル。サレバ特殊ナル場合ニハ官業ヲ可トスルケレドモ、一般ノニハ民業ノ方が生産的ナルアルト云ハザルヲ得ヌ。

第三、社會政策上ヨリ觀察シテ見ルト、(イ)官業ハ少數資本家ヨリ不勞利得ヲ奪ヒ來ル利益ガアル。殊ニ獨占ノ利益ヲ少數者ノ手ヨリ移シテ多數ノ國民ニ分ツ點ハ看過ス可カラザル長所ナル。(ロ)官業ニ於テハ其供給スル物又ハ勤務ノ價ヲ定ムルニツキ社會各階級間ノ調和ヲ計ルコトヲ得ルケレドモ、個人企業テハ此點ヲ顧ミナイ。(ハ)官業ハ公債ニ依テ資金ヲ得、民業ハ一部ハ株ニ依テ資本ヲ調達スルモノナルガ、投機ニ流レ易イ株ヨリモ公債ノ方が分配上ノ好結果ヲ來スモノナル。要スルニ社會政策上カラ云ヘバ官業ハ民業ニ優ルモノト云ハザルヲ得ヌ。

第四ニ財政上ノ見地ヨリスレバ、(イ)官業ハ收支ノ關係ヲ良好ニスルモノナルケレドモ、又往々ニシテ收入ヲ減シ支出ヲ増ス場合モアル。(ロ)官業ハ財政ノ獨立ヲ得セシムルモノナルケレドモ、人民ノ豫算監督ガ弛ミ易ク、收入ノ動搖ガ甚シク且ツ屈伸力ヲモ缺クコトナル。(ハ)官業ハ財政ノ信用ヲ厚カラシムルケレドモ、之レニハ却テ公債ノ膨脹ヲ來ス虞レガ伴フ。(ニ)官業ノ爲メニ國民ノ租税負擔ハ輕減サル、ケレドモ、然モ不知不識ノ裡ニ租税ヲ課セラルルノハ宜シクナイコトデ、不公平ナル負擔ヲ生ズル基トナル。要スルニ財政上カラ見レバ利害相半ハシテ、官業民業孰レヲ可トシ孰レヲ否トスルコトガ出來ヌ。

戰後歐洲ニ於テハ Friedenssozialismus + Volksgenossenschaft

Stöckelノ主義ガ發達スルデアロウケレドモ、日本ニ於テハ必ズシモ之レニ倣フ必要ハナイ。全體上官業ハ出來ルダケ縮少スルガ可イと思フ。而シテ官業トシテ存続セシムルモノハ成ル可ク公益ヲ計ルコトヲ旨トシテ夫ノ鐵道ノ如キモ手數料主義ヲ採用ス可キデアル。

報告第二席 東京高等商業學 堀 光龜君

按教授商學士

保護會社問題ノ可否ヲ論スルニ當ツテ、吾人ハ先ツソノ根本の見地ヲ明ニスル必要ガアル。今マ保護主義ト自由主義ト孰レガ可イカト云フニ、余ハソノ何レニモ偏シナイ。余ハ國利民福主義ヲ採リ、時ト場所トニ應ジテ或ハ保護主義ヲ可トシ或ハ自由主義ヲ可トスルノデアアル。保護主義ニ從フ場合ニハ保護ニ依テ失フ所ヨリモ之レニ依テ得ル所ガ大アリケネバナラス。國家ハ國家トシテ其ノ機能ヲ發揮スベキデアルカラ保護スベキ場合ニハ大ニ保護シテ可イノデアアル。唯タ此ノ際可否ノ議論ノ生ズルノハ保護サル可キモノノ何物タルカヲ明ニシナイ結果デアアル。即チ、會社ヲ保護スル力會社ノ事業ヲ保護スルカノ見方ノ相違ニ基イテ議論ガ分レテ來ル。若シ會社ヲ保護スルモノトセバ、飽リ迄會社ヲシテ利益ヲ擧グシメバナラス。從テ保護金ヲ澤山與ヘナケレバナラス。併シ會社ノ事業ヲ保護スルモノトセバ、其ノ事業ヲ營マシムルコトニ依テ會社ノ蒙ル損失サヘ補償シテ遣レハソレテ足ルノデアアル。理論上ハ事業ヲ保護スルノ方針ニ出テバナラスノデアアルガ、實際上ハ餘分ノ保護金ヲ交付スルノ結果トシテ會社ヲ保護シテ居ルカノ如キガアル。歐洲航路ノ補

助ニ就イテモ現ニ會社ハ大利益ヲ擧ケテ居ルデハナイカ。但シ現在ニ於テハ過大ナル補助金ヲ受ケテ居ルニシテモ將來尙亦航路ヲ擴張スルノ必要アル場合ニハ之レヲ認容シナケレバナラヌ。元來保護會社ノ事業ハ官業ト密接ナル關係ヲ有シテ居ルモノデ、國家ガ自ラナス可キ事業ヲ人民ヲシテ代ツテ行ハシムルニ過ギス。保護會社ノ事業ハ即チ官業ノ委託ト解スベキモノデアル。故ニ保護會社ヲ論スルニ當ツテハ此ノ事ヲ忘レテハナラス。サレバ國內ニ競爭者ノ存スル場合ニハ保護ヲ與フベキモノデハナイガ、外國ニ敵ノアル場合ニハ大ニ保護ヲ與ヘナケルベカラヌ。又事情ノ許ス限リハ國家自ラ之レヲ營ムガ可イ。次ニ考フ可キハ保護ノ方法ト程度デアルガ保護ノ方法ハ漸次進歩シ來リ、昔ハ排他的ニ行ハレタモノガ今ハ自衛的ニ行ハルル様ニナツタ。保護ノ程度ニ就イテハ會社ノ損失ヲ償フニ止ム可キカ、或ハ適當ノ利益ヲ與フベキカノ問題ヲ生ズルケレドモ、之レハ一概ニ言フコトハ出來ス。會社ガ他ノ事業ヲ利益ヲ得テ居ル場合ニハ、特ニ其ノ事業ヲ營マシタダクノ損失ヲ填補スレバ足ルケレドモ、別ニ他ノ事業ニ依テ利益ヲ擧ゲデ居ナイ場合ニハ、世間並ミノ利益ヲ得セシムル必要ガアル。

註、堀君ハ更ニ進シテ日本ノ保護會社ノ現狀ヲ説カレタケレドモ、之レナ簡單ニ紹介スルコトハ困難ナレバ、乍遺憾後半ハ之レヲ略スルコトトシタ。

右報告ノ終ツタ時ハ既ニ六時ヲ過グルコト三十分、會員ハ討議ノ時間ヲ失ハンコトヲ惧レテ

直アニ食堂ニ入り、食後大講堂ノ隣室ニ於テ討議ヲ開イタ。

小川郷太郎君 堀江君ニ質問シマス。官業ハ凡テ不可ナリト云フ論旨ノ様ニ拜應シマシタガ、造幣モ郵便モ不可デスカ、又專賣ノ如キモ廢止セヨト云フ御意見デスカ。

堀江歸一君 造幣ハ官業ナクテハナラス。專賣ハ如何ト云フニ、余ハ總論ノ分擔者デアルカラ夫レ迄ハ觸レテ居リマセン。

小川郷太郎君 成程御報告ノ中ニハ深ク論ジテアリマセン。依テ只今茲デ御意見ヲ伺フノデス。專賣ハ財政上ノ收入ヲ總グルコトヲ目的トスルモノデアル、然ルニ之レヲ廢止スルトセバ、其ノ收入ヲ如何ニス可キデアルカ。

堀江歸一君 ソレ迄深ク考ヘテ居リマセン。

上田貞治郎君 官業ハ常ニ官僚政治ヲ助グルモノデアルト云フ御意見デスカ。

堀江歸一君 議會モ存スルコトデアリマスカラ、夫レ迄強クハ主張シマン。

小川郷太郎君 堀江君ハ、兵器ガ國際商品トナツタノナ理由トシテ、兵器製造ノ政部分ハ之ヲ民間ニ讓ルコトト爲スベシト主張サレ、製鐵所ノ如キハ全部民間ニ拂下ゲテ可ナリト説カレタケレドモ、兵器製造ガ官業トシテ存スル以上、製鐵所ノミ民業トナスコトハ出來マイト思フ。一體官業ヲ拂下グルト云フコトハ、名ハ美デアルガ、實ハ一二ノ資本家ヲ利スルト云



フコトニ過ギヌ。コレハ社會政策上大ニ考慮セネバナラヌ點デアル。又專賣ノ廢止ニ就イテモ、專賣モヤメ消費稅モヤメルト云フノナラバ、理論ハ一貫スルケレドモ、サウ云フコトハ到底行ハル可キコトデハナイ。專賣チヤメ、消費稅ヲトルト云フナラハ、專賣ノ財政上ノ理由ニ溯テ之ヲ論議セネハナラヌ、併シソレハ六ヶシイ。又鐵道ニツイテモ、國家ガ利益ナキ線路ヲ敷設シタコトヲ看過シテ國有ノ成績不可ナリナド云フノハ誤リデアアル。今日鐵道ヲ拂下セントスルモソハ事實上出來ナイ相談デ、然モソハ官僚政治ノ問題デハナク、財政上ノ問題デアアル。軍事上ノ事ヲ考フレバ尙更ノコトデアアル。一體自然的獨占ノ性質ヲ帶フルモノハ之ヲ官業トスベキデアアル、獨占ノ利益ヲ私人ニ占メシムルハ當チ得ナイ、余ハ又責任者タル神戸君ガ缺席サレタルコトヲ遺憾トスルモノデアアルガ、鐵道ノ運賃ヲ手數料主義ニ依ツテ定ム可シトノ意見ニハ反對デアアル。

桑田熊藏君 神戸君ガ手數料主義ヲ主張サレタノハ、鐵道獨全體ニ亘ツテノ考ヘデ、全體トシテ利益ヲ擧グル策ヲ立テズシテ唯ダ COST ナ償フヲ以テ満足ス可シト主張サレタノデハアルマイカ。幾哩ノ線路チ一單位ト看做スベキカ、恐ラク標準ガアルマイ。故ニ國有鐵道全部チ一部ト考ヘ、ソノ平均ノ income トソノ平均ノ cost トナ比較シテ剩餘ノ殘ラヌ様ニスルコトヲ手數料主義ト稱セラレタモノト解スルガ適當デアロウト思フ。

此際手數料主義收入主義ノ議論ヨリ、端ナクモ道路ト鐵道トノ區別論ニ花ガ咲キ、道路ハ Verkehrsleistung ナレドモ鐵

道ハ Verkehrrsmittel ナリト云フガ如キ脫線的議論ニ時間ヲ空費スルコト四十餘分、漸クニシテ議論ハ再び本筋ニ歸ツタ内池廉吉君 國有鐵道デアツテモ、必ズシモ手數料主義ニ依ラナケレバナラヌト云フ理由ハアルマイ、營利主義ニ從テモ宜シイト思フ。國有鐵道ノ利益ハ獨占ノ利益デアアル。之レチ私人ガ經營スレバ、私經濟主義ヲ採ルカラ、自カラ取レル丈ノ利益ヲ食ルコトトナル。然ルニ國家ガ之レヲ經營スル場合ニハ公益ニ着眼シテ居ルカラ、縱シ營利ヲ計デモ大シタ弊害ハナイノデアアル。

堀光龜君 國家ノ官業ガ全體ニ非常ナル發達ヲ遂ゲ、國家全體ノ收入ガ極メテ豐カニナツタ曉ニハ、手數料主義ニ從フヲ適當トシ、更ニ進ンデハ損チスル位ニ運賃ヲ輕減スルノモ宜イデアラウ。

福田德三君 國家ハ既ニ租稅ヲ課シテ居ルノデアアルカラ單ニ收入ヲ得ルト云フ目的ノ爲メナラバ、官業ノ必要ハナイ譯デアアル。唯ダ社會政策上ノ理由カラ官業ノ擴張ガ是認サルノデアアル。國庫ノ收入チ多クスル爲メナラハ租稅ヲ整理シテ適當ノ方法ヲ講ズレバ足ル、官業ニ訴ヘナケレバナラヌト云フ理由ハナイ。故ニ積極的ニ官業ノ必要ヲ認ムルモノハ社會政策上ノ理由デアアル。既ニ社會政策上ノ理由ニ基イテ是認セラルルモノトスレバ、ソノ營業上ノ成績ノ良否ハ官業存廢ノ理由トハナラヌ。堀江君ハ成績不真ト云フ理由ノ下ニ官業拂下ゲチ主張セラレタケレドモ、之レハ根本ノ着眼點ヲ誤ツタ議論デアアル。又堀江君ハ小川君ノ質問ニ對シテ、這般ハ官營ナラザル可カラズト

答ヘラレタガ、metallic money ナラザレバ money ナラズト  
ノ御考ヘナラバイザ知ラズ、將來ハ貨幣制度モ變ズルカラ、造  
幣チ民業ニ委ヌルモ毫モ差支ガナイ。兵器製造モ亦然リデアル  
乍併、一度之レチ社會政策上ノ見地ヨリ見ル時ハ、造幣モ兵器  
製造モ其ノ他ノ官業モ決シテ之レチ民業ニ移シテハナラヌ。

討議ハ更ニ保護會社問題ニ移ル可キデアツタ  
ガ、時既ニ十時ヲ報シタカラ其ノ儘散會スルコ  
トトナツタ。

翌二十九日ハ午前九時ヨリ講演會ガ開カレ  
タ。其ノ内容ノ要點ハ左ノ通りデアル。

### 職工組合ノ現在及將來

慶應義塾大學教授  
慶應義塾政治學上

小泉 信三君

英國ニ於テ一八五〇年代ニ成立シタ職工組合ハ、熟練労働者  
ノ共濟組合デアツテ、同盟罷業ヲ爲スコトヲ目的トシナカツタ  
併シ一八八〇年代ニ至ツテハ、不熟練労働者ノ間ニモ組合ガ成  
立シ、漸次社會主義的ノ性質ヲ加味シ來ツテ、雇主ノ利益ト勞  
働者ノ利益トハ相容レザルモノト看做サルルニ至ツタ。從テ一  
九〇〇年頃ニハ同盟罷業ヲ主タル目的トスルニ至リ、爾後一九  
一〇年頃マデハ労働組合ハ主力ヲ政治運動ニ傾注シタ。斯クシ  
テ英國ノ労働黨ハ成立シタノデアルガ、今後ノ労働黨ハ其ノ議  
員ヲ増スコトハ困難デアロリ。何トナレバ、英國ハ民主政治ノ  
國デ自由黨モ労働者ノ歡心ヲ買フコトニ努メテ居ルノデアルカ

雜錄 社會政策學會第十回大會記事

ラ、労働者ハ労働黨員ノミニ投票スルノ必要ヲ感ジナイカラデ  
アル。現ニ一九〇一年ニ起ツタおすぼらん判決事件以來労働者  
ノ心ハ漸次労働黨ヲ離レタ。斯クシテ労働者ハ再び同盟罷業ヲ  
義ニ復歸シタノデアル。現時職工組合ニ關シテ問題トナツテ居  
ルノハ、(一)職工組合ノ組織問題デアル。craft union ニス可キ  
カ industrial union ニス可キカト云フ問題デアル。前者ノ組  
織デハ同シ仕事ニ従事シテ居ル職工ノ組合、例ヘバ機械職工ノ  
組合チ造ル組織デアルガ、之レデハ、造船業者ノ組合チ鐵道業  
者ノ組合ニ對抗スルコトハ出來ヌ。何トナレバ、造船鐵道業ニ  
従事スル職工ニハ機械職工ノミデハナク他ノ仕事ヲ爲ス職工  
モ混シテ居ルカラデアル。ソコデ雇主ニ對シテ労働者ノ團結ヲ  
強リセント欲セバ、勢ヒ造船業ニ従事スル労働者、鐵道業ニ従  
事スル労働者チ一組合ニ結合シテ後者ノ組織ヲ作ラナケレバナ  
ラヌ。然ルニ茲ニ困難ナル問題ガ起ル、即チ斯クシテ出來タ  
craft union ト industrial union トチ如何ニ調和セシムベキ  
カト云フ問題はレデアル。此ノ點ニツキテハ恐ラク米國ノ職工  
組合ニ學ブ所ガナクテハナルマイ。(二)次ニ問題トナツテ居ルノ  
ハ(各組合ノ統一)デアル。現今ノ職工組合大會ハ全組合ヲ統一シ  
指揮スル力ヲ有シテ居ナイ。今後是非共之レチ統一シナケレバ  
ナラヌ。(三)次ニ又職工組合ト消費組合トノ關係ガ問題トナツテ  
居ル。自耳義デハ同盟罷業ノ際消費組合ガ労働組合ニ向テ食料  
ヲ供給シ資金ノ援助ヲ與ヘタコトガアル。次ニ英國ノ労働者ハ  
如何ナル理想社會ヲ描イテ居ルカト云フニ第一ニ生産手段ノ公  
有ヲ希望シテ居ル。併シ、ソレノミニハ満足セズ、第二ニ労働

組合(廣イ意味)ヲシテ生産ノ經營ニ當ツシメシコトヲ希望シテ居ル。彼等ハ生産ノ公營ヲ以テ消費者ノ爲メニスルモノト看做シ、社會主義ハ畢竟國家的若クハ自治體的消費組合ヲ作ルモノニ過ギズトシ、之ヲニ syndicalismノ思想ヲ加味シテ guild socialismヲ主張シテ居ルノデアル。勞働者ヲ解放スルニハ wage systemヲ廢止シナクレバナラズ、然ルニ生産ノ公營ハ必ズシテ之ヲ廢止シナイ。依テ勞働者ハ生産公營組織ノ下ニ於テモ guildヲ作ツテ國家ト相並シテ均衡ヲ保タネバナラズト云フノデアル。

## 工場法ノ施行ニ就テ

農商務省商工局長 岡 實君

(一)工場法トハ何ゾヤ 工場法トハ工場ニ規律ヲ與ヘ、工場主ヲシテ慈悲心ヲ以テ勞働者ヲ取扱ハシメンコトヲ目的トスルモノデアル。此目的ノ爲メ二人的ノ取締ト物的ノ取締トヲ爲シ、勞働者ヲシテ可成水ク且ツ安心シテ其ノ業ニ從ハシメンコトヲ期スルモノデアル。

(二)如何ニシテ工場法ハ生レタカ 明治十四年ヨリ四十四年ニ至ル迄三十年間ノ調査ヲ經テ四十四年二初メテ成立シ、以後五ヶ年間ト空費シテ漸ク實施サレタノデアル。

(三)實施ニ關スル設備如何 貳拾五萬圓ノ金ヲ支出シテ全國ニ約二百名ノ工場監督官ヲ派遣シ、貳萬ノ工場ト百萬ニ近キ勞働者トヲ監督セシメテ居ル。我國ニ於テ徹夜業ニ従事スル職工ハ

非常ニ身體ヲ害シ、三四ヶ月ノ後ハ工場ヲ立テ去ルト云フ有様デアルカラ、當初此ノ工場法ハ徹夜業ノ禁止ヲ目的トシタノデアツタガ、紡績業者ノ反對ニ會ツテ其ノ禁止ハ十五年間延期スルコトトシタ。取締ニツイテ問題トナツタ點ハ、婦女ニ有害ナル點ハ如何ニ改良セシムベキカ、責任者ハ何人トスベキカ、監督官ヲシテ自由ニ改良ヲ命セシムベキヤ否ヤ等ノ問題デアツタ點ハ、工場法ノ除外例ヲ如何ニ定ム可キカ、資傷者ニ對スル扶助金ノ程度如何、勞働者ハ工場主ノ不法行為ニ依テ資傷シタル場合ニハ損害賠償ト扶助料トヲ併セテ要求シ得ルカ、仲裁々判所設置ノ必要アリヤ、共濟財團ヲ作ラシムルトスレバ扶助料トノ關係如何、歐洲ノ徒弟制度ヲ輸入スルノ可否、等デアツタ。

(五)工場法實施後ノ有様 工場監督官ハ處罰スルコトヲ主トセズシテ、精神的ニ指導スルコトニ向テ努力シテ居ル。今日明瞭ニナツタ好果ハ、休日ヲ定メタ爲メニ病氣缺勤ト稱スル者ノ數ヲ減シタコト、賃銀ヲ預テ職工ノ足止メヲスルノ弊ガ除カレタコト、勞働時間制限ノ結果却テ勞働效率ノ進シタコト、扶助料ヲ一定シタ爲メ資傷者ニ補助者ヲ伴ハヌコトナリ工場主ノ便利ヲ増シタコト、職工名簿調製ノ結果取締上ニ多大ノ便宜ヲ得タコト等デアル。

(六)今後ノ社政策 工場法ヲ實施サレ、僱勞保險カ實施サレタ上ハ來ルベキモノハ勞働保險デアル。然ルニ今ヤ資傷率疾病率ガ記サレツツアルカラ、勞働保險ヲ設クルノ準備トモナルデアロカ。

疑問ノ濠洲 東京法科大学教授 松岡均平君

茲ニ濠洲ト云フハにゆうじいらんヂモ含メテノ話デアル。

此地ハ社會政策ノ行届ケルコト世界第一デ、寔ニ勞働者ノ樂園ト云ツテヨイ。獨逸ナドノ社會政策ハ階級爭鬭ヲ緩和セシムル爲メノモノデアルガ、濠洲ノ社會政策ニ至ツテハ勞働者自身ノ手盛デアル。にゆうじいらんヂモテハ八時間勞働ガ行ハレ、びくとりあデハ六時間勞働五時間勞働ガ行ハレテ居ル。工場法モ二人以上ノ勞働者ノ居ル所ニハ嚴格ニ適用サレ、養老年金ノ制度ノ如キモ、養老保險デハナク、又救貧制度デモナク、國家ガ全部負擔シテ老人ハ一般ニ年金ヲ受ケルノ權利ヲ有シテ居ルノデアル。其ノ他ト云ニル社會政策ノ設備ガ殆ンド完備シテ居ルト云フテヨイ。斯クノ如キ社會政策ノ實施ハ一ニ勞働組合ノ賜デアルガ、併シ濠洲ノ勞働組合ノ跋扈ハ甚シイモノデ、一八九〇年以後ハ普通選舉ヲ利用シテ政治上ノ實權ヲ收メントシ、茲ニ勞働黨ヲ作ツタノデアル。斯クシテ立法ハ朝令暮改トナリ、政治ハ國家本位デナク、個人本位トナツタ。而シテ勞働者ハ最低賃銀ニ依ツテ保障サレテ居ルガ故ニ懶惰ニシテ奢侈ニ流レ、今ヤ濠洲ハ最者ノ樂園ト化シタノデアル。社會政策完備ノ結果失業者ナキガ如ク考ヘラルモ、實際ハ工業ガ發達シナイノテ常ニ約一割ノ失業者ガアル。賃銀ノ如キモ實質的賃銀ハ却テ減少シテ居ル。例ヘバ一八九一三年ノ實質的賃銀ハ一九〇二年ノソレニ比シテ二割一分五厘ノ低落ヲ示シテ居ル。コレハ賃銀チ高ムル爲メニ同盟罷業ヲ行ツタ結果却テ生産物ノ騰貴チ來シ、因果相

循環シテ此ノ如キ結果チ見ルニ至ツタノデアル。乍併勞働者ノ生活狀態ハ兎ニ角變テアル。ケレドモ之レハ社會政策ノ結果デハナクテ、濠洲ガ富裕ナル故デアル。又賃銀協定制度仲裁裁判制度ハ惡影響ヲ與フルノミテ少シモ同盟罷業チ少ナクセズ、常ニ資本家ニ不利益ヲ蒙ラシメテ居ル。サレバ國內ニ工業發達セズ、羊毛獸皮等ノ工業ハ半バ外國ニ於テ行ハレテ居ル有様デアル。從テ濠洲ノ保護關稅ハ教育的關稅デハナクテ、永久的保護關稅デアル。之レチ財政ノ方面カラ見テモ、社會政策ノ爲メニ行政費ハ過大トナリ、官業ハ收入主義ヲ採ラズ、租稅ハ重キナ加ヘ、公債ハ益々膨脹シ、年金ノミデモ年二貳千六百四拾萬圓ヲ支出シテ居ル有様デアル。吾人ハ濠洲ノ社會政策ノ價值ヲ疑ハサルチ得ナイ。

右了ツテ午餐ノ爲メ暫時休憩シ、午後一時半再ビ開會、先ツ第十一回大會ノ委員ヲ選定シテ次デ講演ニ移ル。

米國ノ船舶國有船

早稻田大學教授 伊藤重治郎君

南北戰爭前ノ米國海運業ハ甚ダ盛ンデノツテ八割迄ノ貨物ハ自國船デ運ンダノデアルガ、戰後ハ急ニ衰ヘテ二百五十萬噸ノ船舶ガ百五十萬噸ニ激減シタ。爾後貿易ハ逐年増加シタケレドモ海運ハ依然トシテ不振チ極メテ居タ。一八九三年ニ郵便物ヲ運送スル船ニハ補助スルト云フ法律ガ出來タガ大シタ效果モナ

ク、以後一九〇〇年迄ノ八年間ニ、外國船ニ依ル貨物ニハ重税ヲ課スルト云フ Discrimination ノ法律案ヤ、外國船ノ自由輸入ヲ許スト云フ Free Ship ノ法律案等ガ提出サレタケレドモ不成功ニ終ツタ。其ノ後補助金交付ノ案ガ出タガ之レモ否決セラレ、一九〇一年ヨリ、一九一二年ニ至ル間ニハ六個ノ補助案ガ提出サレタケレドモ、調査委員會ノ組織ト外國船ノ條件付輸入ノ許可トノ二件ガ可決サレタノミデ他ハ悉ク否決サレタ。斯クノ如ク海運補助案ノ不入氣ナリシ所以ハ、(一)政治上ニ於ケル意見ノ相違、(二)貿易ノ發達ハ必ズシモ自國船ニ據ルノ必要ナシトノ有識者ノ意見、(三)政府ノ干渉ヲ好マザル國民性等ニ基イタモノデアル。斯クテ今回ノ大戦ニ遭ツタノデアルガ、内ニハ供給スベキ貨物山ヲナシ、對岸ニハ交戰國及中立國ノ火急ナル需要ヲ控ヘナガラ、之レヲ渡スベキ船ガナイノデアル。戰前ノ米國貿易ハ英船五割七分、獨船一割七分、佛船四分ノ割合ヲ運搬サレタモノデ、自國船ノ運輸力ハ極メテ微弱デアツタ。從テ運賃俄然騰貴シ、一九一四年十二月ニハ三四倍トナツタノデアル。茲ニ於テ米國人ハ相省ミテ若シ自國船ナリセバ斯カル高率ノ運賃ヲ支拂フコト無カル可シトノ歎聲ヲ發スルニ至ツタ。而シテソノ非常手段トシテ船舶國有法ガ生レタノデアルガ、吾人ハ更ニ海軍擴張ナル後援者ノアルコトヲモ忘レテハナラヌ。然ラバ五千萬弗デ幾何ノ船舶ヲ買入ルコトガ出來ルカト云フニ、方今ノ如キ一顧四百圓ノ相場ヲ以テスレバ、僅カニ二十五萬圓シカ買入ルコトハ出來ナイ。故ニ數ニ於テハ我海運業モ恐ルルニ及バナイガ、併シ國營デアルト云フコトハ利益ヲ眼中ニ措カ

ヌカラ注意ヲ要スルノデアル。

### 在米日本人問題ノ歸趣

神戶高等商業學校教授 土 內地廉吉君

太平洋沿岸カラ東洋人ヲ排斥スルト云フコトハ今ニ始マツタコトデハナク、先ツ支那人ガ排斥サレタ、日本人ニツイテハ學童問題カラ一轉シテ移民問題トナリ、歸朝者ノ數ハ移住者ノ數ヨリモ稍多ナツタガ、尙ホ邦人ノ十萬内外彼ノ地ニ住ンテ居ル。元來同等以上ノ國ニ移住スル者ハ十分先方ノ法規ト習慣トニ從フ必要ガアル。政治上ノ主義ニツイテモ無暗ニ異ツタ思想ヲ鼓吹サレテハ合衆國ノ政治ガ危險ニナル。生活程度ノ低イ者ガ濫リニ侵入シテハ社會生活ガ亂サレル。故ニ政治上社會上或程度ノ調和ヲ保タシケレハ排斥サルノハ自然ノ數デアアル。但シ排斥ノ方法ガ正シカラザル場合ニハ吾人ハ沈黙ヲ守ル譯ニハ行カヌ。例ヘバ、歸化セザル者ニハ土地ヲ所有スルコトモ相續スルコトモ許サナイト云フガ如キハ是レデアアル。既ニ移住ヲ許シタル者ニ突然此ノ如キ制限ヲ加フルノハ不當デアアル、不條理デアアル。併シ醜テ考フレバ、此移民問題ハ日本ニトツテモ米國ニトツテモ左程大問題デハナイ。日本ハ移民ガ杜絶サレタカラト云フテ國ガ亡ブル虞レモナイ。又米國ニツイテ見テモ、日本人ノ耕作地ハ加州ノ耕地ノ約百分ノ一デ、邦人ノ所有地ハ加州ノ土地ノ約千分ノ一、合衆國ノ三十萬分ノ一ニシカ當ラヌ。然ルニ米人ガ極力邦人ヲ排斥スルノハ別ニ深い根據ガアル。表面上ノ理由ハ二ツデアツテ、一ハ邦人ガ行ケバ貨銀ヲ下ゲルト云

フ經濟上ノ理由テ、地ハ邦人ガ同化シ得ナイト云フ社會上ノ理由テアル。乍併之レハ華僑國民ノ問題ト看ナケレバナラヌ。米人ノ國民的自覺、白人發展ノ希望ガ今日ノ移民問題ヲ產シテモノト云フベキデアル。

## 租税ト社會政策

東京高等商業學校教授 上田貞治郎君

昨年田中博士ハ其ノ報告ニ於テ、社會政策ニ基イテ租税ヲ課スルト云フコトヘ。(一)正義ニ反スルモノデアリ。(二)又實際上ノ立法論ト可シテモ不可デアルト述ベラレタ。堀江博士モ之レト同意見ノ様デアアル。乍併金ノ見所ニ依レバソハ正義ニモ反セズ又立法論トシテモ不可ナラズト信ズ。あだむすみすハ收入ニ應ジテ課税スルコトヲ公平トシ正義ニ合スルモノトシテ居リ、田中博士モ之レヲ是認サレテ居ル。併シヨク考ヘテ見ルト、すみすニハ矛盾ガナイケレドモ田中博士ニハ矛盾ガ伴ツテ居ル。正統學派ノ見所ニ依レバ現在ハ正義ニ合シテ居ルノデアアルカラ、將來モ其ノ儘自由ニ放任セヨト主張スルノデアアル。反之、田中博士及堀江博士ハ現在ノ狀態ノ不合理ナルコトヲ認メテ居ラルル。若シ現在ガ不合理ノ狀態ニ陷ツテ居ルトセバ、社會政策ヲ租税ニ適用シテ之レヲ矯正スルニ於テ何ノ不可ガアラウ。現ニ社會政策ハ自由ノ契約ニ干渉シテ勞働者ノ所得ノ多カラシコトヲ計ツテ居ルデハナイカ。社會政策ハ不合理ニ分タル財ノ分配ヲ矯正スルモノデアアル。視ヨ、救貧制度ト云ヒ、義務教育ト云ヒ、勞働保險ト云ヒ、工場法ト云ヒ、最低賃率制ト云ヒ、一トシテ然ラザルモノハ無イノデアアル。一度現狀ノ不合理ナル

コトヲ認メタルハ最早ヤ自由放任主義ヲ採ルコトハ出來ナイ譯デアアル。正義論トシテ而博士ノ說ハ誤テ居ルト云ハネバナラヌ。次ニ實行論トシテ田中博士ハ斯リ云テ居ラル、『租税ハ社會政策ヲ適用スレバ、金持ハ金ヲ失ヒ、勞働者ハ意慢ニ流レ、國ヲ舉ゲテ貧困ニ陷ルノ結果徵税ノ目的ヲ達スルコトヲ得ズ』ト。乍併、之レヲ獨逸ヤ英國ニ於ケル普通ノ社會政策ニツイテ見テモ、博士ノ言ノ當テ居ナイコトガ解ル。此等ノ國ハ果シテ社會政策ノ結果國民の生産力ヲ減少シタト云ヒ得ルカ、工場法ノ如キハ生産力ヲ害スト看ラレタルモ、實際ハ生産力ノ増加ヲ來シテ居ルデハナイカ。然ラバ獨リ租税ノミニ社會政策ノ適用ヲ拒ムハ理由ノナイコトデアアル。累進税ヲ課シ、免税ノ限度ヲ高クシ、日用品ノ消費税ヲ廢シ、不勞所得ノ税ヲ高クシ、相續税ヲ高クスルニ於テ何ノ不可ガアラウ。租税ニ社會政策ヲ適用シテ差支ナイコトハ他ノ經濟政策ニ之レヲ適用シ得ルノト毫モ異ル所ハナイノデアアル。

## 官業トシテノ兵器製造業ニ就テ

法學博士 本多精一君

(一)國防上ノ危險 我國ノ兵器製造所ハ東京ト大阪トノ二個所アルノミ。コレデハ國防上兵器ノ不足ヲ憂ヘザルヲ得ナイ。我國ハ日露戰爭ノ當時既ニ兵器ノ不足ヲ感シタトノコトデアルガ方今ノ戰況ニ照シ合セテ見ルト官業ノミテハ危險デアルト云ハネバナラヌ。

(二)官設工場擴張ノ必要 右ノ如ク國防上ノ必要カラ官設工場ヲ擴張シナケレバナラヌガ、倍テ擴張トナルト財政上ノ困難ガ

件ヲ。元來兵器製造業ノ如キハ平時ニハ閑散デアリ戰時ニハ繁忙ヲ極メルカラ、可成伸縮力ヲ強カラシムルコトガ要義デアル此ノ點カラ見レバ、官設工場ノ擴張ハ惡イ。故ニ海軍ニ私立ノ造船所アル如ク、陸軍ニモ私立ノ兵器製造所ガアツタ然ル可キデアル。

(三)如何ニ改良ス可キカ 兵器製造ノ一部ヲ民間ニ請負ハシムルコトが必要デアル。今日ノ兵器ハ民間ノ不熟練ヲ以テシテハ到底製造シ得ズト云フ説アレドモ有力ナル説ハナイ。民間ニテモ出來ル管デアル。若シ民間ニ許サナイ時ニハ我國ニ於テハ工業動員ヲ行フコトハ出來ナイノデアル。民間ノ工業ガ政府ノ軍器製造ト何等ノ連絡ヲ有シナイ場合ニハ、斯カル工業ニ向テ動員ヲ行フコトハ出來ヌ、故ニ民間ノ工場ガ相當ノ熟練ヲ積ム迄ハ之レニ補助ヲ與ヘテ養成シテ然ルベキデアル。若シ機密漏洩ヲ恐ルルナラバ、其ノ部分ダケハ官設工場ニ於テ作製シテモ宜イ、又漏洩ヲ取締ル方法ハ幾ラモアル。

### 經濟、道德トノ關係

京都法科大学教授 田島錦治君

Wagnerハ現代ヲ目シテ社會政策ノ時代ト稱シタガ、社會政策ナルモノハ語ヲ換ヘテ云ヘハ仁義ノ政ニ外ナラス。今經濟ト道德トノ關係ヲ述ブルニ當ツテ先ツ道德ノ根本義ヲ詳ニスル必要ガアル。忠君愛國ノ識ヲ教スハ必ズシモ己ヲ滅スルノデナラザラ好シテ自適スルノデアル。我ニ親アリ子アリ兄弟ガアル時ハ、我ハ家族大ノ我トナリ、我ニ國民生活ノ自覺アル時ハ、我ハ國民大ノ我トナル。國民大ノ我が自ラ樂ミ自ラ好シテ行ク所ニ其所ニ忠臣義士ガ顯レルノデアル。斯クテ一時的ノ我ハ永久ノ我ニ延長サレ、單數ノ我ハ複數ノ我ニ擴張サレル。永久ノ

我複數ノ我ニ到達シ得テ茲ニ始メテ天下社會ガ我ニ歸シ、後世百代ガ我化セラルノデアル。仁人身ヲ殺シテ仁ヲ爲ス所以ノモノヲ決シテ已チ滅スルモノデハナイ。經濟ハ利ヲ目的トシ、道德ハ善ヲ眼目トスル。利ト善トハ果シテ一致スベキヤ否ヤ。孟子曰ク爲仁者不富而富者不仁ト。余ハ斯ノ如キチ目シテ例外的ノ事實ト做ス。管仲ハ衣食足而知禮節トモ云ツタガハナイカ往タニシテ人善ハ小利ト一致シナイコトガアルガ、併シ大善ハ常ニ大利ト一致スベキモノデアル。今生産ノ三要素ニツイテ之ヲ見ルニ、經濟行爲者ハ自然ノ恩惠ニ浴スルコト甚大デアルガ之レヲ獨占シテ小技ノ私用ニ供スルノハ宜シクナイ。勞力ニモキテモ、其ノ結果ヲ私有セシガ爲メニ働クヨリモ、勞働其ノモノノ樂ム場合ニ眞ノ生産ハ發達スル。又投機ノ爲メニセズ事業ノ爲メニスル株主デナクテハ眞ノ株主ト云フコトハ出來ヌノデアル。世人ハ財ヲ貯蓄スルコトヲ知テ勞力ヲ貯蓄スルコトヲ知らズ、是レ工場法ノ制定サル所以デアル。更ニ資本ニ就テ之レヲ見ルニ、資本ハ素ト是レ節約ノ結果デアル、從テ吾人ハ資本ニ就テ過去ヲ聯想シ、過去ノ聯想ヨリ祖先ノ崇拜ノ念ヲ喚ビ起サザルヲ得ナイ。人或ハ經濟ノ發達ヲ奢侈ノ増進ニ歸スルケレドモ、之レハ誤リデアル。吾人ハ禮儀ノ發達ト經濟ノ發達トガ相伴ヘルコトヲ忘レテハナラス。禮儀ヲ超ヘタル奢侈ノ發達ヲ促シテハ居ナイノデアル。

講演終リテ後、芝三田慶應義塾前東洋軒ニ於テ懇親會ガ開カレタ。其ノ席上ニテ第十一回大會ノ討議問題ハ小工業問題ト定メラレタ。十月三十日、會員中ノ有志ハ鐵道院大井工場ヲ參觀シタ。